



## 充実した2学期でした

12月25日、2学期の終業式をしました。79日間の2学期でした。終業式で、子どもたちにこのような話をしました。

みなさんは、「言霊(ことだま)」という言葉を知っていますか？私が大好きな言葉です。「言霊」は「ことだま」と読み、国語辞典で調べてみると「古代の日本で、言葉に宿っていると信じられていた不思議な力。」とあります。「言霊」の歴史は大変古く「言霊」に関する記述は1300年前に編纂された日本最古の書物『古事記』や『万葉集』にも見られます。これほど昔から日本では“言葉には神秘的な力がある”と考えられていました。良い言葉を用いて、良い未来を作るという考えが受け継がれてきました。

ところで、みなさんは、2学期の振り返りをしたでしょうか？「こんなことをがんばった」「こんな力がついた」という言葉を見つけたでしょうか？このようなプラスの言葉は、頑張る力や身についた力をさらに高めてくれます。繰り返し使うことによって「できる」という自信をより強く持つことができるので、希望通りの未来を引き寄せやすくなると思います。それに生活が楽しくなります。

逆に、「何もがんばっていないし、何も身につけていません」「私には無理」という言葉を使ったり、まわりの人から「頑張ったね、力がついたね」と認めてもらっても、「全然だめです」といった言葉を言ったりしていないでしょうか？「自分には、もっと高い目標があるので、これぐらいでは頑張ったとは言えません」という自分に対し厳しい考えかもしれませんね。これはこれで素晴らしいと思います。であれば「全然だめです」ではなく、「頑張っている途中で」という言葉なのではないでしょうか。

また、ひょっとして、まだみつけない人、頑張っていたことはきっとあります。こっそりでもいいので言葉にして、自分を自分でほめてあげてください。初めに話した「言霊」のように、言葉にしていくことで、さらにその力が高まると思います。

さて、明日からの冬休み、勉強やお手伝いをしますよね。どんな言葉をつけて勉強やお手伝いをしますか？「めんどくさいな」という言葉をつけたら、めんどくさくなります。「自分に力をつけよう」「喜んでもらおう」という言葉をつけたら、きっとそうなります。言葉の力を信じて、自分にとっても、まわりの人にとっても楽しい冬休みにしてください。次の学年に向けた0学期とも言われる3学期に、皆さんと出会うことを楽しみにしています。

### 学校の様子



#### 3年 市木交流

11月25日、市木のふれあい広場で、市木地区の方とゲートボールをしました。初めはルールに戸惑っていましたが、すぐに慣れ楽しむことができました。



## 5年 あさひを守る人・盛り上げる人から学ぶ

11月22日には、今年度米作りの学習でお世話になった岩地さん、12月2日には、市木でさつまいも農家をしておられる徳川さんにお越しいただき、どのような思いで、お仕事をしておられるのか、またその工夫などについてお話を聞きました。



## 全校 緑の少年団活動

12月5日、緑の少年団活動として、NPO法人もりふれクラブの野田さんから、森の大切さなどお話を聞きました。また、その後、4年生は、野田さんに教えていただきながら紙すきの活動もしました。



## 4年 スポーツ教室(雪合戦)

12月6日、島根県雪合戦連盟の方に来ていただき、雪合戦の体験をしました。練習の後、対戦をしました。楽しく雪合戦をすることができました。



## 1・2年収穫祭

12月9日、5月にさつまいもの苗を植えることを教えていただいた地域の方をお呼びして、収穫祭を開きました。調べたことを発表したり、一緒にふかし芋を食べたり、歌を歌ったり、おいしく楽しいひと時でした。



## 全校 なかよし集会

12月11日、総務・放送・健康委員会が中心となって、なかよし集会を開きました。人権標語コンテストの表彰や、縦割り班に分かれて、自己紹介やクイズなどをしました。人権擁護委員の岩谷さんにも様子を観ていただきました。



## 6年 成果発表

12月20日、体育館で、これまで学習してきた「平和についての劇」や「未来へつなげるプレゼンテーション」の成果発表をしました。



## お知らせ

### 卒業証書用石州和紙の寄贈式

11月号でもお伝えしましたが、12月18日、旭支所で、島根あさひ社会復帰促進センター長さんより、センターで製造された石州和紙を、旭町の小中学校の今年度の卒業証書用に寄贈していただきました。ありがとうございます。

